

○アートコース (福岡県立美術館)

ホンモノの美術作品を
直に鑑賞し豊かな感性を
育む体験プログラムです。

学ぼう



体験して

○サイエンスコース (福岡県青少年科学館)

プラネタリウムや参加・体験型
展示物を活用した学習を通して
科学への理解が深まります。



○歴史コース (九州歴史資料館)

福岡県内の遺跡から出土した
数々の出土品や遺跡に触れて
歴史を楽しく学びます。

触れよう



2025年度

スクール・ミュージアム事業 参加校募集！

子どもたちに様々なプログラムをご用意しています。

- ◆ 実施期間：2025年5月～2026年2月
- ◆ 対象校：県内の公立小・中・義務教育学校・高等学校、
中等教育学校、特別支援学校（両政令市立学校を含む。）
※選考により参加校を決定します。
(アートコース30校、サイエンスコース10校、歴史コース5校 程度)
- ◆ 募集締切：2025年2月7日(金)(必着)

費用について（以下の経費は福岡県教職員互助会が負担します。）

- ・ 往復バス借上料(バス1台あたり上限額7万円[税込]、小型・マイクロバス
上限額5万円[税込])及び有料道路使用料
- ・ 学習プログラムに関する費用(展覧会入場料、材料費等)
※詳細はP8(裏面)をご確認ください。

アートコース（福岡県立美術館）

1. 活動メニュー

プログラム名		目安時間	場所	内 容
美術館紹介・鑑賞マナー	必須	10分程度	視聴覚室など	美術館についての紹介、美術館での鑑賞マナーについて聞く。
展覧会の解説	選択	10分程度	視聴覚室など	作品や展覧会を鑑賞する際のワンポイントについて美術館職員が説明する。
展覧会の鑑賞	選択	10～30分程度	展覧会会場	作品や展覧会を担当者よりポイントを絞って説明を受けながら鑑賞する。
自由鑑賞	選択	30～50分程度	展覧会会場	展示作品を自由に鑑賞する。 (会場内での解説等は原則なし。)
ワークシートの共有	選択	20分程度	展覧会会場	ワークシートを用いて、事前に決めたテーマに沿って、作品について発表しあう。
学習のまとめ	必須	20分程度	視聴覚室など	鑑賞後に感想を共有し、アンケートに答える。

※「美術館紹介・鑑賞マナー」、「学習のまとめ」を必ず行うこととしていますが、実施当日の学習プログラムは、学校の規模や実態に応じて、事前の打ち合わせ（下見を兼ねる）を行った上で決定します。

※学校の規模等、参加人数によっては、希望する学習プログラムの実施が難しい場合や、同日及び同時間帯に実施できない場合があります。

なお、50名以上の学校は午前と午後に分かれることを原則とします。

※ギャラリートーク、美術館職員引率によるグループ活動等は、原則実施しません。

※主体的な鑑賞活動を支援するために、当館作成のワークシートの活用及び視聴覚室での展覧会の解説（展示作品・作家等の解説、鑑賞のワンポイント説明）を実施します。なお、メニューにない活動については、相談の上、決定いたします。

※館内は原則飲食禁止となっていますので、あらかじめご了承ください。

2. 実施について

(1) 実施期間 **2025年5月から2026年2月まで**（ただし実施対象展覧会の会期中に限る。）

(2) 実施対象展覧会（予定）

	展覧会名	会期
①	鬼塚勝也ファイティングアート展	4月19日(土)～5月25日(日)
②	コレクション展 第I期	6月28日(土)～8月29日(金)
③	第80回福岡県美術展覧会	9月2日(火)～9月28日(日)
④	没後50年 高島野十郎展	10月11日(土)～12月14日(日)
⑤	大企画展 「みんなの画材店-山本文房堂の的野さんはみんなを励ましている」	1月20日(火)～3月8日(日)

※展覧会名称・展覧会会期は変更する可能性があります。

※会期中にかかわらず、休館日（月曜日：月曜が祝日の場合はその翌平日、年末年始）及び下記の日程は、展示・撤去作業等のため実施できません。

- ・展覧会準備、撤去期間 5月27日(火)～6月8日(日)
9月30日(火)～10月10日(金)、
12月16日(火)～1月6日(火)
- ・県展準備期間 7月23日(水)～8月31日(日)

3. 学習プログラム例

(1) 小学校（参加児童数40名1クラス）滞在時間120分程度

美術館紹介・鑑賞マナー（10分）→ 展覧会の解説（10分）→
展覧会の鑑賞: 担当者よりポイントを絞った説明を受けつつ鑑賞（10～30分）→
ワークシートを活用した自由鑑賞・館内見学・貸展示室鑑賞（30～50分）→
ワークシートの内容のグループ共有（20分）→ 学習のまとめ（20分）

(2) 中学校（参加生徒数80名2クラス）滞在時間 各120分程度

【1組：午前美術館（午後に他の施設）40名】

美術館紹介・鑑賞マナー（10分）→ 展覧会の解説（10分）→
展覧会の鑑賞: 担当者よりポイントを絞った説明を受けつつ鑑賞（10～30分）→
ワークシートを活用した自由鑑賞・館内見学・貸展示室鑑賞（30～50分）→
ワークシートの内容のグループ共有（20分）→ 学習のまとめ（20分）

【2組：午後美術館（午前に他の施設）40名】

美術館紹介・鑑賞マナー（10分）→ 展覧会の解説（10分）→
展覧会の鑑賞: 担当者よりポイントを絞った説明を受けつつ鑑賞（10～30分）→
ワークシートを活用した自由鑑賞・館内見学・貸展示室鑑賞（30～50分）→
ワークシートの内容のグループ共有（20分）→ 学習のまとめ（20分）

(3) 中学校や高等学校の部活動（参加生徒数30名）滞在時間100分程度

美術館紹介・鑑賞マナー（10分）→ 展覧会の解説（10分）→
ワークシートを活用した自由鑑賞（50分）、
ワークシートの内容のグループ共有（20分）→ 学習のまとめ（20分）



ご不明な点については、福岡県立美術館（電話092-715-3551）までお問い合わせください。

サイエンスコース（福岡県青少年科学館）

1. 活動メニュー

活動		対象	場所	時間	内容	
利用マナー	必須	全学年	ロビー	10分	挨拶、注意事項	
①プラネタリウム学習 専門員による解説	必須	小3・4	コスモシアター (プラネタリウム)	— つ 選 択	25分	単元：小4理科「星と月」
		小5・6			25分	単元：小6理科「月と太陽」
		中学生			25分	単元：中3理科「地球と宇宙」
		全学年			15分	季節の星座解説
②プラネタリウム学習 番組上映 ※全天周デジタル映像	必須	全学年	〇10:00～ (11:00～) (13:00～) 40分間	— つ 選 択	15分	「ガリレオとめぐる太陽系の旅」
		中学生			15分	「アインシュタインとめぐる銀河系の旅」
		全学年			25分	学習番組「みずものがたり」等
展示場における 調べ学習	必須	全学年	常設展示場 1・2・3階	1時間 程度	学校で設定したテーマに沿って 調べ学習（展示見学）を行う。 ○宇宙コーナー（2階） ○礎となる科学コーナー（2階） ○自然と環境コーナー（3階） ○ロボット科学技術コーナー（3階） ○先端科学技術コーナー（3階）	
科学工作教室	任意	全学年	実験室・工作室 40名程度/回	30分	簡単な科学工作 ※実施時間の調整が必要です。 ※内容は事前打合せで決定しま す。	
サイエンスショー	任意	全学年	わくわく ラボコーナー	20分	様々な科学現象を楽しく分かり やすく実験で紹介します。 平日 11:15～11:35	
アンケート (実施報告書)	必須	全学年	—	—	所定のアンケートの実施・集計を お願いします。（後日提出）	

2. 実施について

(1) 実施機関 2025年5月から2026年2月まで

（ただし、休館日、7/19(土)～8/24(日)、12/25(木)～1/7(水)を除く。）

(2) 留意事項

- 他団体の利用等の都合により、学習プログラムの変更をお願いする場合があります。
- 事業終了後に、アンケートを集計して、所定の実施報告書を提出してください。
- 事業に参加された際、活動の様子を撮影させていただくことがあります。撮影した写真は、事業報告書や広報
用資料等に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 学習プログラムについて
 - ア サイエンスショーは定刻開催が基本です。ただし、プログラム構成上必要な場合は臨時開催の相談に応じます。
 - イ 学習プログラムの詳細は、4月以降利用1か月前までに、学校と福岡県青少年科学館双方の担当者による打合
せを行った上で決定します。なお、利用予約は全て先着順です。採択された場合の事前打合せは、できるだけ早
めをお願いします。打合せは、下見を兼ねた来館にて実施します。
 - ウ 学校の規模（参加人数）等によっては希望に沿えない場合があります。

3. 学習プログラム例

(1) 2時間30分の例（人数：40人×2クラス）

9：50までに	科学館到着、ロビー集合（開館は9：30）
9：50～10：00	利用マナー、移動
10：00～10：40	プラネタリウム学習①・②（学年等に応じた内容を実施）
10：40～12：10	常設展示場で調べ学習（各学校でテーマを設定） サイエンスショー（11：15～11：35）
12：10～12：20	ロビー集合、諸連絡等
12：20	科学館出発

(2) 4時間の例（人数：40人×1クラス）

9：50までに	科学館到着、ロビー集合（開館は9：30）
9：50～10：00	利用マナー、移動
10：00～10：40	プラネタリウム学習①・②（学年等に応じた内容を実施）
10：40～12：10	常設展示場で調べ学習①（各学校でテーマを設定） サイエンスショー（11：15～11：35）
12：10～12：40	昼食
12：45～13：15	科学工作教室
13：20～13：50	常設展示場で調べ学習②
13：50～14：00	ロビー集合、諸連絡等
14：00	科学館出発



ご不明な点については、福岡県青少年科学館（電話0942-37-5566）までお問い合わせください。

歴史コース（九州歴史資料館）

1. 活動メニュー

プログラム名		対象	時間	場所	内容
施設紹介 施設利用マナー	必須	全学年	15分	研修室	施設の紹介や博物館でのマナーについての話を聞く。
展示見学 (常設展)	選択	小6～ 高3	15分	第1展示室	学芸員等の話を聞きながら常設展を見学し、旧石器時代から近代まで、地域の歴史を大観する。
展示見学 (企画展・特別展)	選択	小6～ 高3	15分	第1展示室	学芸員等の話を聞きながら企画展・特別展を見学する。
バックヤード ツアー	選択	全学年	30分	バック ヤード	普段は見ることができない文化財の修復作業等や文化財が保存されている収蔵庫の見学を行う。
企画展 「きゅうおにと タイムトラベル」	選択	小6～ 中1	15分	第2展示室	企画展「きゅうおにとタイムトラベル」を見学し、大昔のくらしと国づくりについて調べ学習を行う。
古代体験	選択	小4～ 高3	30分	文化財 整理室	割れた土器を復元する体験や文様を紙に写し取る拓本体験や竪穴住居づくり体験等を行う。小人数であればVR体験（遺跡探検）も実施可能。
学習のまとめ アンケート記入	必須	全学年	15分	研修室	学んだこと、考えたこと等を互いに交流して学習を振り返り、アンケートにこたえる。

※実施当日は、最初に「施設紹介・施設利用マナー」、最後に「学習のまとめ」を必ず行うようにしています。

2. 実施について

(1) 実施期間 2025年5月から2026年2月まで ※休館日は毎週月曜日（休日の場合は翌日）

(2) 展示計画（展覧会名称、会期は変更することがあります。）

展覧会名	会期
常設展示「歴史（とき）の宝石箱」	通年（特別展会期中を除く）
特別展「近世福岡のやきもの」（仮称）	秋季
企画展示「きゅうおにとタイムトラベル-大昔のくらしと国づくり-」	春季・夏季

企画展示「きゅうおにとタイムトラベル」は、小学6年生、中学1年生の歴史学習の導入に対応した縄文・弥生・古墳・奈良時代についての展示です。福岡県内の遺跡から出土した展示資料をもとに、各時代の特色をとらえ、やがて天皇を中心とした政治の仕組みが全国（自分たちのくらす地域）に及んでいくのを実感することができます。

※展示替えの際は、展示室を閉室にすることがあります。また各展示の会期について詳細は当館ホームページをご覧ください。

(3) 留意事項

展覧会場の収容人数に限りがあるため、参加校の規模によっては、全員が同じメニューを実施できない場合があります。

3. 学習プログラム例

(1) 小学校4年生（参加児童30名1クラス）滞在時間90分程度

施設紹介・施設利用マナー（15分）→展示・施設見学・古代大宰府解説（40分）→
バックヤードツアー（20分）→学習のまとめ（15分）

(2) 小学校・中学校（参加児童生徒数35名2クラス）滞在時間120分程度

施設紹介・施設利用マナー（15分）→展示見学（30分）→古代体験（30分）→
バックヤードツアー（30分）→学習のまとめ（15分）

(3) 中学校や高等学校 部活動など（参加生徒数20名）滞在時間90分程度

施設紹介・施設利用マナー（15分）→展示見学（30分）→古代体験（30分）
→学習のまとめ（15分）

↑ 2グループに分け交替 ↑

※学習プログラムの詳細は、4月以降に学校と九州歴史資料館双方の担当者による打ち合わせを行った上で決定します。
※学校の規模(参加人数)等によっては、希望する学習プログラムの実施が難しい場合もあります。



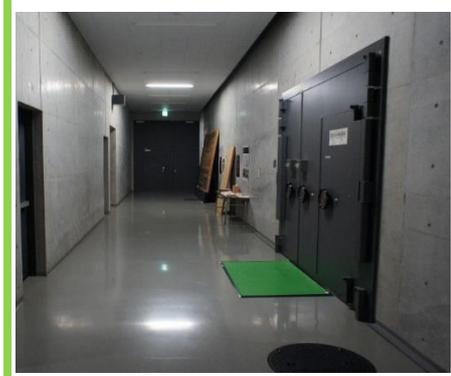
展示見学（常設展）（企画展・特別展）



古代体験（上:竪穴住居 下:VR体験）



バックヤードツアー



※VR体験の対象年齢は13歳以上です。対象年齢未満の生徒・児童様が体験をされる際は、事前に保護者の承諾が必要になります。

ご不明な点については、九州歴史資料館（電話0942-75-9501）までお問い合わせください。

◆ 申込み及び実施手続きについて



① 申込み



別紙申込書（様式1）にバス借上料等に係る見積書（バス借上料、有料道路使用料等の内訳を明記）を添付の上、**2025年2月7日（金）（必着）**までに福岡県教職員互助会あてご提出ください。

※ 申込みは各校アート・サイエンス・歴史各コースのいずれか一つとなります。（複数申込不可）

② 選考結果通知



選考の上参加校を決定し、3月中旬までに全ての応募校に福岡県教職員互助会から選考結果を通知します。参加決定校は、バス予約等の手続きを行ってください。

③ 事前打ち合わせ



参加校の担当者は、遅くとも実施日の1か月前までに、福岡県立美術館・福岡県青少年科学館・九州歴史資料館に来館の上、学習プログラムの打ち合わせや施設見学を行ってください。

④ 事業実施



福岡県立美術館・福岡県青少年科学館・九州歴史資料館に来館して、学習プログラムを行います。

※ サイエンスコースは実施日の1週間前までに青少年科学館へ所定の「減額・免除申請書」をご提出ください。

⑤ 実施報告及びバス借上料等の請求



実施後1週間以内に、福岡県教職員互助会あてに所定の請求書（様式2）をご提出ください。

※ サイエンスコースの参加校は青少年科学館へ所定の「実施報告書」をご提出ください。

⑥ 補助対象経費の確定・振込み

福岡県教職員互助会から学校口座（校長名義等）に補助対象経費を振り込みます。

※ バス借上料等のバス業者等への支払いは学校が行ってください。

◆ 補助対象経費について



下記の必要経費を補助対象経費として福岡県教職員互助会が負担します。

① 児童生徒及びその引率教職員の観覧料及び入館料

※ サイエンスコースは、来館の1週間前までに所定の「減額・免除申請書」の提出が必要です。

② 往復バス借上料（JRや地下鉄、船、車椅子運搬用トラック等交通費を含む。）及び有料道路使用料

i) バス借上料：1台あたり上限額7万円（税込）、小型・マイクロバスの場合は1台あたり上限額5万円（税込）、上限額以内の場合は実費相当額

ii) 有料道路使用料：実費相当額

iii) 公共機関を利用する場合：実費相当額

例1) バス会社見積額 大型バス2台（1台あたり84,000円）有料道路代（1台あたり3,600円）
→補助対象額 147,200円（バス借上料：上限額7万円×2台、有料道路：3,600円×2台）

例2) バス会社見積額 小型バス1台（1台あたり45,000円）有料道路代なし
→補助対象額 45,000円（バス借上料は上限額以内のため実費相当額）

③ 学習プログラムの実施に係る材料費

※ 往復の経路に他の社会教育施設に立ち寄ることも可能ですが、福岡県立美術館・福岡県青少年科学館・九州歴史資料館以外の施設で発生する費用（入場料、駐車料金等）は補助対象外です。

※ 旅行傷害保険料は補助対象外です。

【その他】福岡県立美術館・福岡県青少年科学館・九州歴史資料館での活動の様子を撮影させていただく場合があります。撮影した写真は事業報告書や広報用資料等に掲載する場合がありますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ】

福岡県立美術館	〒810-0001	福岡市中央区天神 5-2-1	TEL 092-715-3551	FAX 092-715-3552
福岡県青少年科学館	〒830-0003	久留米市東櫛原町 1713	TEL 0942-37-5566	FAX 0942-37-3770
九州歴史資料館	〒838-0106	小郡市三沢 5208-3	TEL 0942-75-9501	FAX 0942-75-7834
福岡県教職員互助会	〒812-0054	福岡市東区馬出 2-2-56	TEL 0120-378-007	FAX 0120-294-824